

+日本語教室ぺらぺら会(火曜・金曜コース)全体会の議事録

日時

令和1(2019)年10月29日(火)

場所

文化会館3階第4会議室

司会&記録担当(敬称略)

林(代表=司会) & 神田(副代表=書記)

1 次回(11月1日、金曜日、文化会館)授業の教室が次のように割り振られました。

Aクラス:3階・第4会議室

Bクラス:B2階・リハーサル室

Cクラス:5階・和室3&4

\*特に、リハーサル室への誘導員3~4名が必要であり、講師各位には早めの参集が求められました。

2 来期以降のクラス担当運用にむけた指針(案)を年内に取りまとめて、交流課と調整が出来るようにする予定を確認した。

3 指針(案)づくりにおける論点が、おおよそ以下に集約された:-

1 ほぼ全授業に参加できる講師の数が「月・木コース」に比べて少ない。

これが、「火・金コース」に独自の運用指針が必要とされる根本理由である。

8月30日(金)の全体会での基本認識が再度確認されたものである。

2 AB、2クラスの担当講師を合体的に運用できないか。☞ 使用テキストに連動性がある。

3 BC、2クラスの担当講師を合体的に運用できないか。

この2クラスでは、Aクラスで頻発する「個人別の補講」が比較的少ないので、合体的な運用がやりやすいかも知れない、との意見も述べられた。

4 個々の講師の希望は、尊重されるべきである。

この原則には、担当クラスを固定的にしたい講師と、むしろ流動的・拡大的にしたい講師との、両方の立場を含んでいる。

5 新指針を成功させるために、聴講やサポートなどの体制を事前にスタートさせておきたい。

6 クラス担当替えのサイクルは6か月毎が望ましい。

以下余白。

<出席者>鈴木(雄)、棚木、小藤田、森田、熊井、村松、本家、小宮、古田、能川、林、神田。以上12名。

<交流課>なし

次回は2019年11月29日(金)です。